

氏名	関美雪	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	公衆衛生看護学				
学位	博士(医学)				
学歴	96年筑波大学教育研究科修士課程、07年筑波大学人間総合科学研究科社会環境医学専攻博士課程				
経歴	19年埼玉県立大学保健医療福祉学部教授				
所属学会(役職)	日本公衆衛生学会、日本公衆衛生看護学会、日本地域看護学会、日本看護学教育学会、日本母性看護学会、日本健康学会、体力・栄養・免疫学会、日本小児保健協会				

### 【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	養護教諭なんでも相談室「子どもの健康管理について」	単著	あり	心とからだの健康 健学社 Vol.23 No.5 P40-41	関美雪	2019.5
2	養護教諭なんでも相談室「子どもを取り巻く家族の健康について～母親の産後うつ～」	単著	あり	心とからだの健康 健学社 Vol.23 No.11 P70-71	関美雪	2019.11
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	看護学生のヘルスリテラシーの実態とストレス対処能力との関連	共著	あり	子ども・教職研究 3巻 P11-17	石崎順子、大久保菜穂子、高木悦子、伊草綾香、関美雪、服部真理子、柴田亜希	2020.3
2	医療的ケアの必要な重症心身障害者を支援する介護職と協働する看護師の役割—介護職の経験に焦点を当てて—	単著	あり	保健医療福祉科学 9巻 P7-14	吉田隆俊、林裕栄、関美雪	2020.3
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	4か月までの乳児を持つ父親の自己効力感と関連する要因についての検討	共同		第66回日本小児保健協会 学術集会、江戸川区	○関美雪、服部真理子、佐藤玲子、上原美子、伊草綾香	2019.6
2	産後2週間健診における母親の支援に関する研究-身体症状に着目して-	共同		第66回日本小児保健協会 学術集会、江戸川区	○柴田由里子、関美雪	2019.6
3	育児関連施策における日本と諸外国との比較—育児休業期間と育児休業給付に着目して—	共同		第66回日本小児保健協会 学術集会、江戸川区	○伊草綾香、関美雪、上原美子	2019.6
4	4か月までの乳児を持つ父親のストレス対処能力と関連する要因についての検討	共同		第78回日本公衆衛生学会 総会、高知市	○関美雪、佐藤玲子、上原美子、石崎順子、柴田亜希、伊草綾香、服部真理子	2019.10
5	産後2週間における母親の身体の心配事に関する実態調査	共同		第78回日本公衆衛生学会 総会、高知市	○柴田由里子、関美雪	2019.10
6	NDBオープンデータ及びKDBデータの研究利用の現状	共同		第90回日本衛生学会学術 総会、盛岡市	○服部真理子、関美雪、柴田亜希、石崎順子	2020.3
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C))			子ども虐待予防に向けて父親のコンピテンシーに着目した育児支援プログラムの開発	研究代表者	2017.4～2020.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C))			地域在住高齢者の足部セルフケアの促進と足指筋力の向上を目指したプログラム開発	研究分担者	2019.4～2022.3

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	公衆衛生看護学概論	○	11	公衆衛生看護の歴史について、埼玉県の保健師活動の歴史に重点を置き、地域特性を踏まえた活動の特徴について理解が深まるよう工夫した。
2	公衆衛生看護展開論Ⅰ(母子・精神保健)	○	9	母子保健に関する訪問時の準備やアセスメント、相談支援、乳幼児健診などについてテキストを作成し、母子保健のしくみを理解できるよう工夫した。
3	公衆衛生看護展開論Ⅳ(学校・産業保健)	○	4	産業保健における保健活動について、地域職域連携などの多職種連携や、具体的事例を用い、看護職の役割が理解できるよう工夫した。
4	地域ケア支援論		4	保健活動を展開するための理論を学ぶ内容とともに、事例研究から地域ケアにおける支援の内容について理解できるよう工夫した。
5	小児保健医療福祉論		4	子育て世代包括支援センターの現状と課題を中心に、小児保健医療福祉に関連する施策や課題の分析ができるよう工夫した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	地区診断論		16	健康課題を明確化する理論について講義と、社会資源の現状、健康指標や生活行動の分析についてはデータを用いて演習を行った。
2	公衆衛生看護技術Ⅰ	○	16	公衆衛生看護の援助技術の基本を理解できるよう作成した学習教材(DVD)を、演習に用いた。
3	公衆衛生看護技術Ⅱ		8	公衆衛生看護学実習に置いて分析した健康課題をふまえた健康教育の立案・実施・評価までの演習を行った。
4	養護実習事前事後指導		16	事前指導では、実習の目的・目標を理解し、事後指導では実習後の報告会を行い、学校教育の課題や養護教諭の役割について振り返りをした。
5	教職実践演習		16	学生自らが、保健室経営ができる養護教諭として必要な資質能力を確認し、不足する知識技能等を補えるように演習を行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	公衆衛生看護学実習		2019.4~2019.6	公衆衛生看護の活動の特徴と保健師の支援方法の理解が深まるよう実習指導を行った。
2	在宅看護学実習		2019.10~2019.12	訪問看護師の役割の理解や、地域包括支援センターの役割について理解を深めることができるよう指導を行った。
2	養護実習		2019.5~2019.9	養護教諭としての専門性及び実践力を修得し、保健室の機能と意義を理解して保健室経営に必要な理論と方法を学ぶことを目的として学習支援を行った。
3	総合実習		2019.7	学生が興味関心のあるテーマについて、学習を深められるよう支援した。実習指導者と学習テーマを共有し、学生の指導にあたった。
3	IPW実習		2019.10	IPW実習の目的に沿って、所属の異なる学生が、意見を出し合い、ディスカッションできるよう学習支援を行った。
(4) 論文指導				
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数
1	卒業論文		2019.4~2019.12	主指導 3名 副指導 名
2	修士論文		2019.4~2020.1	主指導(指導教員) 1名 副指導(指導補助教員) 名
(5) その他				
	名称		期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	保健師就職支援		2019.4~2019.11	保健師志望の学生に対して、就職相談、面接カードの添削を行った。
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	子どもの保健	放送大学	母子保健の動向、乳幼児の成長と発達、母子保健行政の役割、子どもを取り巻く環境について8回の講義を行った。	2019.7

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	川口市介護保険認定審査会	委員	2005.4～現在	
2	三郷市母子保健計画進捗管理	アドバイザー	2015.11～現在	
3	越谷市まちの整備に関する審議会	委員	2015.11～現在	
4	さいたま市健康づくり推進協議会	委員	2015.4～現在	
5	上尾市健康づくり推進協議会	委員	2016.4～現在	
6	川口市保健活動指針策定委員会	委員	2015.7～2020.3	
7	宮代町健康マイレージ事業・健康増進及び食育推進計画策定	アドバイザー	2018.1～現在	
8	宮代町国保事業実施計画策定	アドバイザー	2019.4～現在	
9	日本看護協会保健師職能委員会	委員	2017.6～現在	
10	埼玉県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会	委員	2017.6～2020.3	
11	全国保健師教育機関協議会北関東・甲信越ブロック	社員	2017.6～現在	
12	川口市地域保健審議会委員	委員	2017.7～現在	
13	さいたま市開発審査委員会	委員	2019.4～現在	
14	日本公衆衛生看護学会	査読委員	2016.4～現在	
15	全国保健師教育機関協議会	査読委員	2019.10～現在	
16	第18回日本アディクション看護学会学術集会	実行委員	2019.4～2019.6	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	埼玉県春日部保健所	学生訪問ボランティア支援	2019.4～2020.3
1	地域貢献活動	保健師卒業生	保健師卒業生の会の活動支援	2019.6～2020.3
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	奨励研究部会		2018.4～2020.3
2	学科等における委員会等	カリキュラム運営検討会		2018.4～2020.3
3	学科等における委員会等	1年生担任		2019.4～2020.3
4	学科等における委員会等	保健師・助産師関連科目履修者選考委員		2019.4～現在
5	全学的委員会及びセンター業務等	養護実習履修者審査		2019.4～現在
6	全学的委員会及びセンター業務等	教職関連科目担当者委員		2019.4～現在
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			